



スズキ環境・社会レポート 2005 資料集

環境に配慮した企業経営	2
環境に配慮した製品開発	3
四輪車	3
環境に配慮した生産活動	7
環境に配慮した物流活動	8
環境に配慮した市場活動	9
環境に配慮したオフィス活動	12
環境データ集	13

環境管理システムの継続的な改善

ISO14001 認証

スズキグループのISO14001の取得状況をお知らせします。

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート37ページをご覧ください。

● スズキ及び国内関係会社

<スズキ>

[国内工場]

名称	取得時期
湖西工場	1998年 7月
大須賀工場	1999年 9月
相良工場	1999年 9月
豊川工場	2000年 12月
本社工場	2003年 3月
磐田工場	2003年 3月

<国内関係会社>

[製造子会社]

名称	取得時期
(株)スズキ部品富山	2001年 3月
(株)スズキ部品浜松	2001年 6月
スズキ精密工業(株)	2001年 10月
(株)スズキ部品秋田	2002年 3月
(株)スニック	2005年 3月
(株)浜松パイプ	2005年 5月
遠州精工(株)	2005年 7月
(株)エステック	2006年 3月 予定
(株)スズキ化成	2006年 10月 予定

[非製造子会社]

名称	取得時期
スズキ輸送梱包(株)	2005年 1月

● 海外関係会社

[製造子会社]

名称	取得時期
マジヤールスズキ社(ハンガリー)	1998年 4月
マルチ・ウドヨグ社(インド)	1999年 12月
スズキスペイン社(スペイン)	2000年 2月
スズキコロンビア社(コロンビア)	2003年 12月
パックスズキ社(パキスタン)	2005年 6月
タイスズキモーター社(タイ)	2005年 8月
PT.ISI チャクン工場(インドネシア)	2005年 12月 予定

[製造関連会社]

名称	取得時期
カミ・オートモティブ社(カナダ)	2000年 6月
江西昌河鈴木汽車有限責任公司(中国)	2003年 12月
済南軽騎鈴木摩托車有限公司(中国)	2004年 6月
重慶長安鈴木汽車有限公司(中国)	2004年 11月
ベトナムスズキ社(ベトナム)	2005年 3月

<その他の製造関係会社>

名称	取得時期
南京金城鈴木摩托車有限公司(中国)	2002年 2月

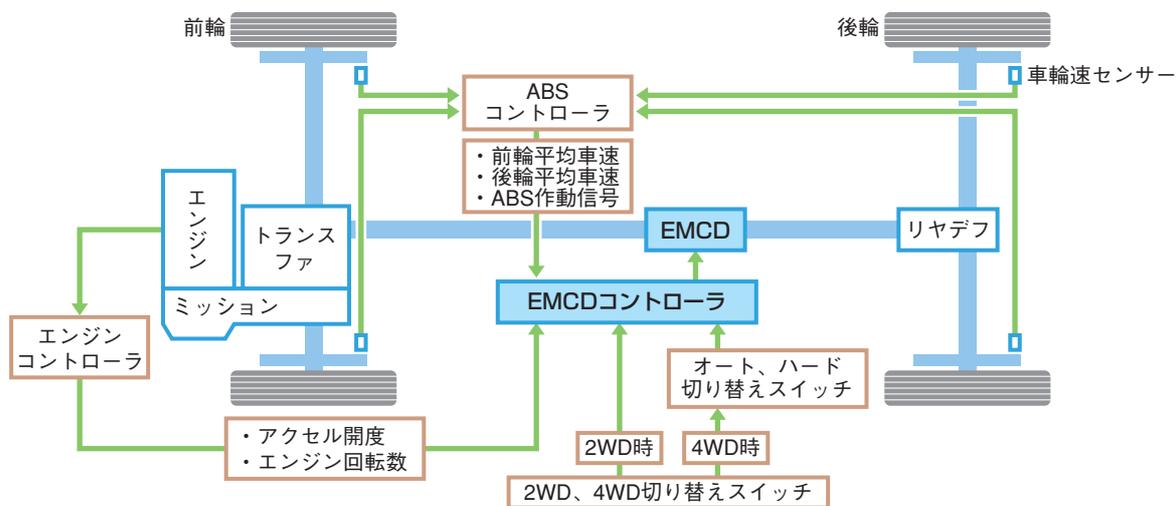
燃費の向上

■ 駆動系の改良

EMCD※(電子制御カップリング装置)式4WD:構成図

本文は、スズキ環境・社会レポート41ページをご覧ください。

※EMCD : Electro Magnetic Control Device



3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

リサイクル設計

本文は、スズキ環境・社会レポート43ページをご覧ください。

新型アルトには以下の材料を使用しています。

リサイクル可能な樹脂材料名
(外装)

ヘッドランプ		ドアミラー	
レンズ	PC	ピボット式	
ハウジング	PP	ハウジング/ベース	PP/PBT
リヤコンビネーションランプ		ガasket	PE
レンズ	PMMA	ターンオーバー式	
ハウジング	ASA	ハウジング/ミラーホルダ/ベース	ASA/PP/PA
サイドターンシグナルランプ		ミラーバイザカバー	ABS
レンズ	PMMA	ガasket	PE
ハウジング	PC	ドアハンドル	
ライセンスランプ		PC+PBT	
レンズ	PC	ルーフモールディング	
ハウジング	PP	TEO	
ホイールキャップ		バックドアハンドル	
センタキャップ(スチールホイール用)	PPE+PS	PC+PBT	
フルキャップ、センタキャップ(アルミホイール用)	PC+ABS	ガラスラン	
バンパ		フロントドア(アッパ部/サイド部)	EPDM/TEO
フロント	PP+EPM	リヤドア	TEO
リヤ	PP+EPM	ウインドシールドモールディング	
グリル		TEO	
ABS		ドアアウトウエザストリップ	
カウルトップガーニッシュ		TEO	
PP		フェンダライニング	
		PE	

(内装)

ルームランプレズ		インストルメントパネル	
PC		PP+EPM	
フロアコンソールボックス		フロントビラーインナトリム	
PP+EPM		PP	
センタビラーインナトリム		ドアトリム	
アッパ	PP	フロント(ウエザストリップ/トリム)	TEO/PP
ロア	PP	リヤ(ウエザストリップ/トリム)	TEO/PP
アシストグリップ		バック(表皮/ベース)	PET/PP
PP		ダッシュサイドトリム	
クォータインナトリム		PP	
PP		ドアオープニングウエザストリップ	
リヤビラーインナトリム		ベース/型成形部	EPDM/PP+EPDM
PP		ドアオープニングトリム	
グローブボックス(リッド/ボックス)		TEO(芯金入り)	
PP+EPM/PP			
インストルメントクラスタパネル			
PP+EPM			
インパネセンタガーニッシュ			
PP+EPM			

ABS 【Acrylonitrile-butadiene-styrene】ABS樹脂

ASA 【Acrylonitrile-styrene-acrylate】アクリロニトリル-スチレン-アクリル酸エステル(ASA樹脂)

EPDM 【Terpolymer of ethylene, propylene and a diene with the residual unsaturated portion of the polymerized diene in the side chain】エチレンプロピレンジエンゴム

EPM 【Ethylene-propylene copolymer】エチレンプロピレンゴム

PA 【Polyamide】ポリアミド

PBT 【Poly(butylene terephthalate)】ポリブチレンテレフタレート

PC 【Polycarbonate】ポリカーボネート

PE 【Polyethylene】ポリエチレン

PET 【Poly(ethylene terephthalate)】ポリエチレンテレフタレート

PMMA 【Poly(methyl methacrylate)】ポリメタクリル酸メチル(アクリル系樹脂)

POM 【Poly(oxymethylene)】ポリアセタール

PP 【Polypropylene】ポリプロピレン

PPE 【Poly(phenylene ether)】ポリフェニレンエーテル

PS 【Polystyrene】ポリスチレン

PVC 【Poly(vinyl chloride)】ポリ塩化ビニル

TEO 【Thermoplastic elastomer, olefinic】熱可塑性エラストマー, オレフィン系

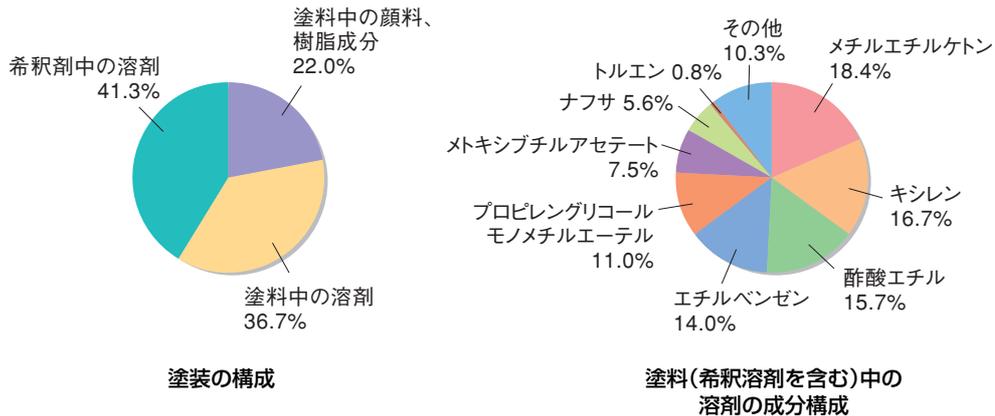
TPE 【Thermoplastic elastomer】熱可塑性エラストマー

環境負荷物質の管理・削減

VOC (Volatile Organic Compounds:揮発性有機化合物) の排出量削減

本文は、スズキ環境・社会レポート44ページをご覧ください。

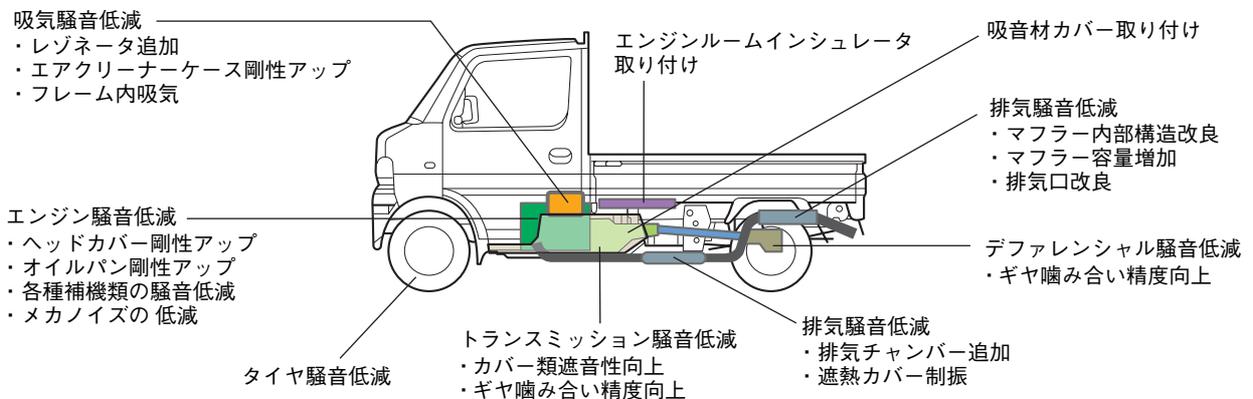
塗装及び塗料(希釈溶剤を含む)中の溶剤の成分は以下のとおりです。



騒音の低減

本文は、スズキ環境・社会レポート45ページをご覧ください。

主な騒音対策項目(例:キャリア)



高度交通システムの開発 (ITS/CEV 共同利用システム)

本文は、スズキ環境・社会レポート45ページをご覧ください。

カーシェアリング専用車は以下の場所等に設置しています。

●「カーシェアリング専用車」設置場所

<関東地区>

車両ステーション
[運営会社 シーイーブイシェアリング株式会社]
<http://www.cev-sharing.com>

東京23区	新大手町ビル駐車場
	三菱ビル駐車場
	新有楽町ビル駐車場
	神田錦町駐車場
	兜町駐車場
	西新宿第4駐車場
	都庁前駅駐車場
	西新宿フォールストパーキング駐車場
	三田国際ビルガレージ駐車場
	山王グランドビルガレージ駐車場
川崎市	タイムズステーション川崎駐車場
横浜市	横浜スカイビル駐車場
	新横浜駅前駐車場
	みなとみらい三丁目駐車場
	日産カーバレス駐車場
	元町商店街第一駐車場
	山下町駐車場
厚木市	厚木南合同庁舎横駐車場

<名古屋地区>

りんくるステーション
[運営会社 Lab.Creations!(ラボクリエイションズ)]
<http://linkul.jp>

中村区	名駅エスカステーション
	亀島ステーション
東区	栄アートパークステーション
中区	泉1丁目ステーション
	錦パーキングステーション
	千種ステーション
	白川ステーション

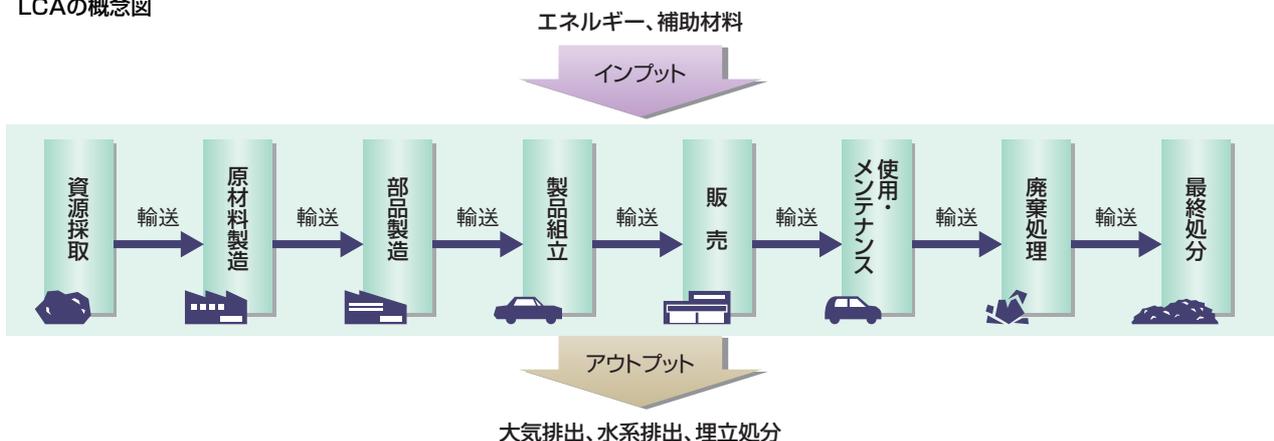


MRワゴン
カーシェアリング専用車

LCA (ライフサイクルアセスメント: Life Cycle Assessment)

本文は、スズキ環境・社会レポート45ページをご覧ください。

LCAの概念図



公害防止

環境リスクの低減

汚水の流出防止活動

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート52ページをご覧ください。

ゴルフ場で使用される農薬成分は以下のとおりです。

農薬成分	種類	農薬成分	種類	農薬成分	種類
アゾキシストロビン	殺菌剤	メブロニル	殺菌剤	フェニトロチオン	殺虫剤
イプロジオン	殺菌剤	メタラキシル	殺菌剤	フラザスルフロン	除草剤
プロピコナゾール	殺菌剤	エトフェンプロックス	殺虫剤	プロピザミド	除草剤
ペンシクロン	殺菌剤	ダイアジノン	殺虫剤		
ホセチル	殺菌剤	ピリダフェンチオン	殺虫剤		

省エネルギー、代替エネルギーの推進

風力発電施設

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート52ページをご覧ください。

風力発電設備による発電量及びCO₂削減量は以下のとおりです。

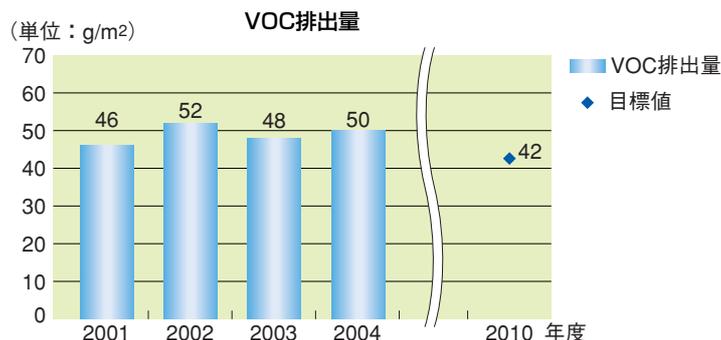
期間	設置場所	発電量 [kWh]	CO ₂ 削減量 [kg-CO ₂]
2004年4月～ 2005年3月	研修センター	16,874	11,002
	湖西工場	2,058,744	1,342,301
計		2,075,618	1,353,303

環境負荷物質の管理と低減

VOC(揮発性有機化合物)

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート53ページをご覧ください。

2001～2004年度のVOC排出量と2010年度目標値は以下のとおりです。



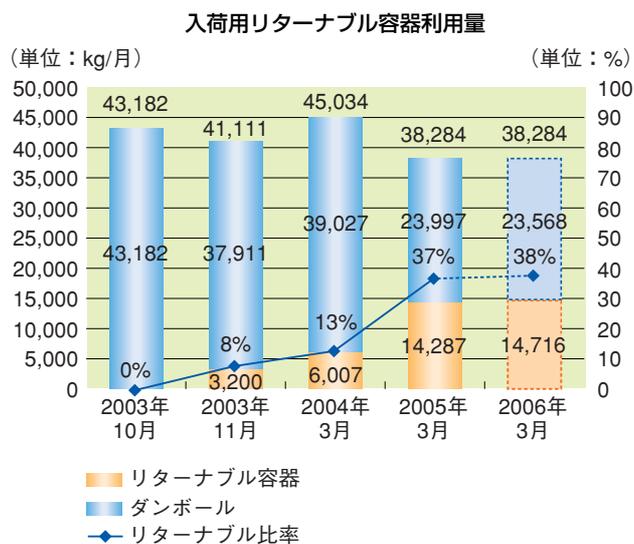
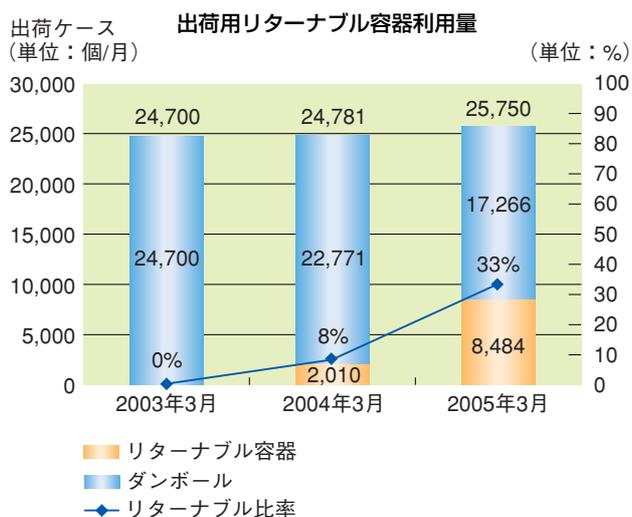
3Rの推進

リユース

リターナブル容器の利用

本文は、スズキ環境・社会レポート55ページをご覧ください。

「出荷用リターナブル容器利用量」及び「入荷用リターナブル容器利用量」は以下のとおりです。



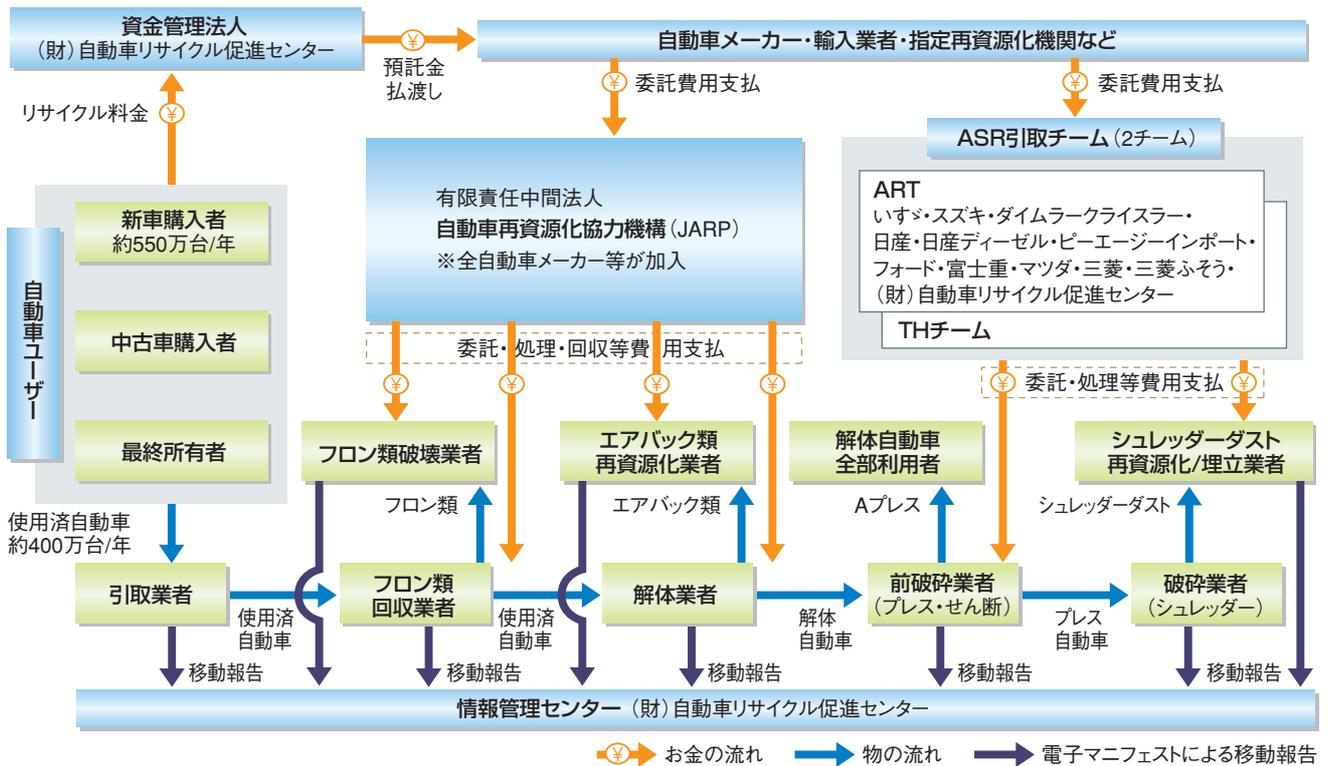
使用済み製品の適正処理

■ 四輪車

自動車リサイクルシステムの構築

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート56ページをご覧ください。

「自動車(四輪車)リサイクルシステム」は以下のとおり実施されています。

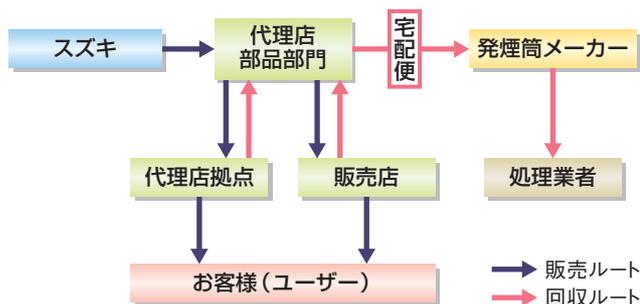


使用済み発炎筒の回収

☞ 本文は、スズキ環境・社会レポート57ページをご覧ください。

使用済み発炎筒の回収は以下のとおり実施されています。

販売/回収ルート

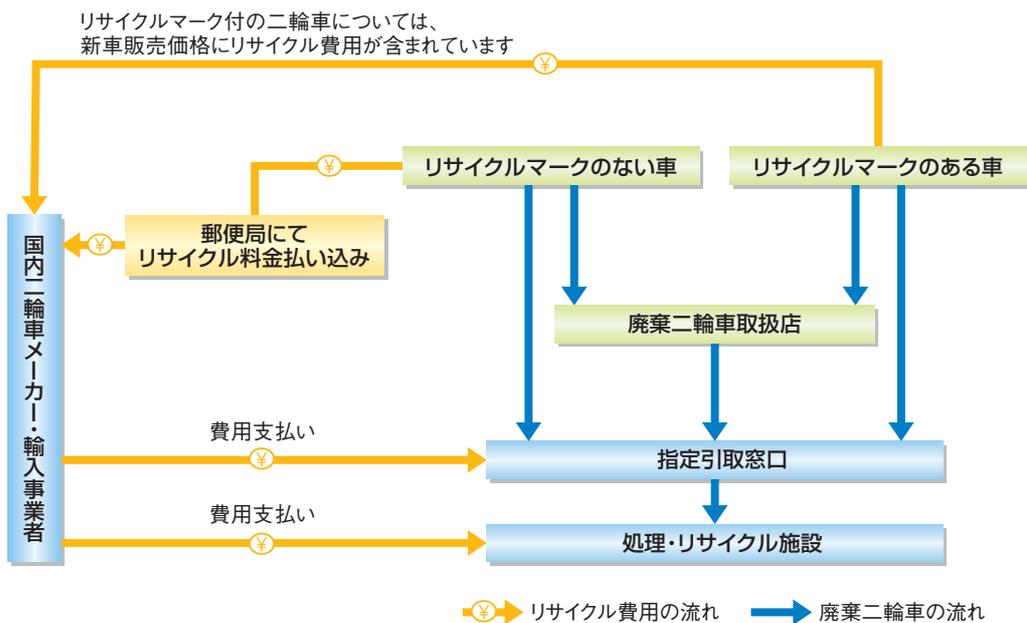


■ 二輪車

「二輪車リサイクル自主取り組み」の状況

本文は、スズキ環境・社会レポート57ページをご覧ください。

「二輪車リサイクル自主取り組み」は以下のとおり実施されています。



3Rの推進 ～ バンパー回収・リサイクル

本文は、スズキ環境・社会レポート57ページをご覧ください。

バンパー破砕機は以下の代理店に設置しています。

バンパー破砕機設置代理店一覧

北海道			近畿地方		
北海道	スズキ自販北海道	http://www.sj-hokkaido.jp/	滋賀県	スズキ自販滋賀	http://www.sj-shiga.jp/
東北地方			京都府	スズキ自販関西 B.Pセンター近畿	http://www.suzuki-w.co.jp/
青森県	スズキ自販青森	http://www.suzuki-j-aomori.jp/	大阪府	スズキ自販近畿	http://www.sj-kinki.jp/
秋田県	秋田スズキ	http://www.sj-akita.jp/	兵庫県	スズキ自販兵庫	http://www.sj-hyogo.jp/
岩手県	スズキ自販岩手	http://www.suzuki-iwate.jp/	奈良県	スズキ自販奈良	http://www.sj-nara.jp/
山形県	スズキ自販山形	http://www.sj-yamagata.jp/	和歌山県	スズキ自販和歌山	http://www.sj-wakayama.jp/
宮城県	スズキ自販宮城	http://www.sj-miyagi.jp/	四国地方		
福島県	スズキ自販福島	http://www.sj-fukushima.jp/	香川県	スズキ自販香川	http://www.sj-kagawa.jp/
関東地方			徳島県	スズキ自販徳島	http://www.sj-tokushima.jp/
茨城県	スズキ自販茨城	http://www.sj-ibaraki.jp/	愛媛県	スズキ自販松山	http://www.sj-matsuyama.jp/
栃木県	スズキ自販栃木	http://www.sj-tochigi.jp/	高知県	スズキ自販高知	http://www.sj-kochi.jp/
群馬県	スズキ自販群馬	http://www.sj-gunma.jp/	中国地方		
埼玉県	スズキ自販関東 埼玉B.Pセンター	http://www.sj-kanto.jp/	鳥取県	スズキ自販鳥取	http://www.sj-tottori.jp/
千葉県	スズキ自販千葉	http://www.sj-chiba.jp/	島根県	スズキ自販島根	http://www.sj-shimane.jp/
東京都	スズキ自販東京	http://www.suzuki-tokyo.co.jp/	岡山県	スズキ岡山販売	http://www.suzuki-okayama.jp/
神奈川県	スズキ自販神奈川	http://www.sj-kanagawa.jp/		東中国スズキ自動車	http://www.tochu-suzuki.jp/
山梨県	山梨スズキ販売	http://www.yamanashi-suzuki.co.jp/	広島県	スズキ自販広島	http://www.sj-hiroshima.jp/
中部地方			山口県	スズキ自販山口	http://www.sj-yamaguchi.jp/
新潟県	スズキ自販新潟	http://www.sj-niigata.jp/	九州地方		
静岡県	スズキ自販静岡	http://www.sj-shizuoka.jp/	福岡県	スズキ自販福岡	http://www.sj-fukuoka.jp/
愛知県	スズキ自販中部	http://www.sj-chubu.jp/	佐賀県	スズキ自販佐賀	http://www.sj-saga.jp/
岐阜県	岐阜スズキ販売	http://www.gifusuzuki.co.jp/	長崎県	スズキ自販長崎	http://www.sj-nagasaki.jp/
三重県	スズキ自販三重	http://www.suzuki-mie.co.jp/	熊本県	スズキ自販熊本	http://www.sj-kumamoto.jp/
長野県	スズキ自販南信	http://www.sj-nanshin.jp/	大分県	スズキ自販大分	http://www.sj-oita.jp/
石川県	スズキ自販北陸 本社	http://www.sj-hokuriku.jp/	宮崎県	スズキ自販宮崎	http://www.sj-miyazaki.jp/
福井県	スズキ自販北陸 福井支店	http://www.sj-hokuriku.jp/	鹿児島県	スズキ自販鹿児島	http://www.sj-kagoshima.jp/
富山県	スズキ自販富山	http://www.sj-toyama.jp/	沖縄県	スズキ自販沖縄	http://www.sj-okinawa.jp/

バンパー回収・リサイクルの流れ



3Rの推進 ～ 紙のリサイクル

本文は、スズキ環境・社会レポート58ページをご覧ください。

本社で発生した廃棄物処分の流れと廃棄物の処分費用についてお知らせします。

廃棄物処分フロー図

廃棄物の種類	外部委託		スズキ社内処理			外部委託							
	収集運搬		中間処理	処理後		収集運搬	中間処理	最終処理	再利用・処分				
紙くず	収集運搬業者	→	湖西工場 焼却場にて焼却	→	ばいじん 燃え殻	→	収集運搬業者	→	溶融	→	破碎	路盤材として利用	
機密書類									分級		焼成		セメント原材料として利用
ダンボール									圧縮等		溶融		ダンボールにリサイクル
新聞・雑誌・カタログ									溶解		再生紙にリサイクル		
社員寮の紙くず									焼却		埋立		焼却灰を埋立

「新聞・雑誌・カタログ」1kgあたりの処分費用

新聞・雑誌・カタログ	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
処分量(kg)	337,500	350,000	350,000	412,500
処分費用(リサイクル)(円)	34,140	30,160	37,960	42,060
1kgあたりの処分費用(円)	9.9	11.6	9.2	9.8

「ダンボール」1kgあたりの処分費用

ダンボール	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
処分量(kg)	1,158,330	1,217,075	865,985	- 189,693.0
処分費用(リサイクル)(円)	153,680	187,600	194,490	118,660
1kgあたりの処分費用(円)	7.537	6.488	4.453	- 1.599

※ ダンボールは、2004年3月より1kgあたり1.5円で有価回収。
2004年度の1kgあたりの処分費用には消費税等が含まれています。
処分費用における - (マイナス)は、収益を意味します。

グリーン購入法適合車種リスト

グリーン購入法に適合する車種を消費者の皆様を紹介します。

軽乗用車

2005年3月現在

車種	型式	エンジン	排気量(L)	駆動方式	変速機	排出ガスレベル(注)	燃費基準達成レベル	注記事項	機種名(仕様)
アルト	CBA-HA24S	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	E、G
	CBA-HA24S	K6A	0.658	2WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	E、G
	CBA-HA24S	K6A	0.658	4WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	E、G
	CBA-HA24S	K6A	0.658	4WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準	5ドア	E、G
	CBA-HA24S	K6A	0.658	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	X
	DBA-HA24S	K6A	0.658	2WD	4AT	SU-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	X
アルトラバン	CBA-HE21S	K6A	0.658	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	G、X、X2、キャンバストップ、モード
Kei	CBA-HN22S	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	A
	CBA-HN22S	K6A	0.658	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	A
ワゴンR	CBA-MH21S	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	FA、FX
	CBA-MH21S	K6A	0.658	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	FA、FX、RR-DI
	CBA-MH21S	K6A	0.658	4WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	FA、FX
	CBA-MH21S	K6A	0.658	4WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準	5ドア	RR-DI
	DBA-MH21S	K6A	0.658	4WD	4AT	SU-LEV	2010年燃費基準	5ドア	FA、FX
MRワゴン	CBA-MF21S	K6A	0.658	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	G、GL、GS
ツイン	CBA-EC22S	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	3ドア	ガソリンA ガソリンA(エアコン、 パワステ付)
						U-LEV			
	CBA-EC22S	K6A	0.658	2WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準	3ドア	ガソリンB、ガソリンV

軽商用車

車種	型式	エンジン	排気量(L)	駆動方式	変速機	排出ガスレベル(注)	燃費基準達成レベル	注記事項	機種名(仕様)
アルト	GBD-HA24V	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	Vs
	GBD-HA24V	K6A	0.658	2WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	Vs
	GBD-HA24V	K6A	0.658	4WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	Vs
	GBD-HA24V	K6A	0.658	4WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	Vs
エブリイ	GBD-DA62V	K6A	0.658	2WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	PU
	GBD-DA62V	K6A	0.658	2WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準	5ドア	PU
	GBD-DA62V	K6A	0.658	4WD	5MT	U-LEV	2010年燃費基準	5ドア	PU
	GBD-DA62V	K6A	0.658	4WD	3AT	U-LEV	2010年燃費基準	5ドア	PU

乗用車

車種	型式	エンジン	排気量(L)	駆動方式	変速機	排出ガスレベル(注)	燃費基準達成レベル	注記事項	機種名(仕様)
エリオセダン	CBA-RA21S	M15A	1.49	2WD	4AT	U-LEV	2010年燃費基準	4ドア	1.5
スイフト	DBA-ZC11S	M13A	1.328	2WD	5MT	SU-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	1.3XE、1.3XG
	DBA-ZC11S	M13A	1.328	2WD	4AT	SU-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	1.3XE、1.3XG
	DBA-ZD11S	M13A	1.328	4WD	5MT	SU-LEV	2010年燃費基準+5%	5ドア	1.3XE、1.3XG
	DBA-ZD11S	M13A	1.328	4WD	4AT	SU-LEV	2010年燃費基準	5ドア	1.3XE、1.3XG
	DBA-ZC21S	M15A	1.49	2WD	4AT	SU-LEV	2010年燃費基準	5ドア	1.5XS
シボレークルーズ	UA-HR52S	M13A	1.328	2WD	4AT	超	2010年燃費基準	5ドア	1.3LS Eエディション、1.3LS 1.3LT、1.3Sリミテッド
ワゴンRソリオ	UA-MA34S	M13A	1.328	2WD	4AT	超	2010年燃費基準	5ドア	1.3E、1.3WELL 1.3WELL S、1.3Sリミテッド

低公害車

車種	型式	エンジン	排気量(L)	駆動方式	変速機	判断基準	注記事項
ワゴンR	LA-MC22S(改)	K6A(改)	0.658	2WD	AT	低公害車	天然ガス自動車

(注) 排出ガスレベル 超 : 平成12年基準排出ガス75%低減レベル
U-LEV : 平成17年基準排出ガス50%低減レベル
SU-LEV : 平成17年基準排出ガス75%低減レベル

◎判断基準 環境省・グリーン購入法判断基準

最新情報は、ホームページでご確認ください。(アドレス: <http://www.suzuki.co.jp/sharyokankyo/green/green.html>)

低公害車出荷台数

スズキ2004年度出荷実績

単位：台

		乗用車		貨物車	合計
		普通・小型車	軽自動車	軽自動車	
低公害車	電気自動車	—	—	—	0
	ハイブリッド自動車	—	—	—	0
	天然ガス自動車	—	87	—	87
低燃費かつ 低排出ガス認定車※	平成17年基準排出ガス 75%低減レベル ☆☆☆	22,266	17,716	0	39,982
	平成17年基準排出ガス 50%低減レベル ☆☆☆	1,463	312,465	7,957	321,885
	平成12年基準排出ガス 75%低減レベル ☆☆☆	30,761	72	1	30,834
	平成12年基準排出ガス 50%低減レベル ☆☆☆	0	4	137,932	137,936
	平成12年基準排出ガス 25%低減レベル ☆☆☆	0	6,219	4,558	10,777
低公害車の合計		54,490	336,563	150,448	541,501

※ 省エネ法に基づく燃費基準早期達成車で、かつ、低排出ガス車認定実施要領に基づく低排出ガス認定車。

低排出ガス車市場投入リスト

大気環境改善への貢献のため排出ガスを低減した車両を積極的に開発し、市場に投入しています。
当社は、2005年から開始される新長期規制に対して下記の認可(2005年8月末)を取得しました。

対応車種	新長期規制	新長期50% 低減レベル	新長期75% 低減レベル	対応車種	新長期規制	新長期50% 低減レベル	新長期75% 低減レベル
アルト		1型式	1型式	スイフト		1型式	4型式
MRワゴン	1型式	1型式		ワゴンRソリオ	1型式		1型式
ワゴンR		1型式	1型式	シボレークルーズ	2型式	1型式	1型式
アルトラパン	1型式	1型式		エリオ	2型式	1型式	
Kei		1型式		エリオセダン	2型式	1型式	
ジムニー	1型式			エスクード		2型式	
エブリイワゴン	1型式			グランドエスクード		1型式	
エブリイ(貨物)	1型式	1型式		エブリイランディ	1型式		
アルト(貨物)		1型式	1型式	ジムニーシエラ	1型式		

新製品環境データ

2004年度に発売となった新製品の環境情報を紹介します。

■ 四輪車

<乗用車-1>								
車名			エリオ			エリオセダン		
発売開始時期			2004.7.20			2004.7.20		
車両型式			CBA-RB21S	ABA-RB21S	ABA-RD51S	CBA-RA21S	ABA-RA21S	ABA-RC51S
エンジン	型式		M15A	M15A	M18A	M15A	M15A	M18A
	総排気量(L)		1.490	1.490	1.796	1.490	1.490	1.796
	種類		直4 DOHC16V VVT			直4 DOHC16V VVT		
	使用燃料		無鉛レギュラーガソリン					
燃料供給装置			電子制御式燃料噴射装置					
駆動装置	駆動方式		2WD	4WD	2WD/4WD	2WD	4WD	2WD/4WD
	変速機	MT	—	—	—	—	—	—
		AT	4AT	4AT	4AT	4AT	4AT	4AT
車両重量(kg)			MT	—	—	—	—	—
		AT	1170	1230	1190-1250	1150	1210	1170-1230
最大積載量(kg)			—					
燃費消費率	10・15モード燃費(km/l)	MT	—	—	—	—	—	—
		AT	16.2	14.4	12.8-14.0	16.2	14.4	12.8-14.0
	CO ₂ 排出量(g/km)		146	164	184-169	146	164	184-169
	2010年燃費基準達成		達成	未達成	未達成	達成	未達成	未達成
2010年燃費基準+5%達成		—	—	—	—	—	—	
排出ガス	適合規制		平成17年	平成12年	平成12年	平成17年	平成12年	平成12年
	低排出ガス認定レベル	良一低排出ガス						
		優一低排出ガス		●	●		●	●
		超一低排出ガス						
		U-LEV	●			●		
	SU-LEV							
	10・15モード規制値(g/km)	CO		0.67	0.67		0.67	0.67
		HC		0.04	0.04		0.04	0.04
		NOx		0.04	0.04		0.04	0.04
	10・15+11モード規制値(g/km)	CO	1.15			1.15		
NMHC		0.025			0.025			
NOx		0.025			0.025			
騒音	適合規制	平成10年			平成10年			
	加速騒音規制値(dB(A))	76			76			
エアコン冷媒使用量(g)			500			500		
リサイクル関係			フットレストペダル バッテリートレイ ダッシュサイレンサー			フットレストペダル バッテリートレイ ダッシュサイレンサー		
鉛使用量	1996年比 1/3		達成			達成		
	1996年比 1/10		未達成			未達成		

<乗用車-2>								
車名			ジムニーシエラ	スイフト				
発売開始時期			2004.10.13	2004.11.1				
車両型式			ABA-JB43W	DBA-ZC11S	DBA-ZD11S	DBA-ZC21S	DBA-ZD21S	
エンジン	型式		M13A	M13A	M13A	M15A	M15A	
	総排気量(L)		1.328	1.328	1.328	1.490	1.490	
	種類		直4 DOHC16V VVT	直4 DOHC16V VVT				
	使用燃料		無鉛レギュラーガソリン					
燃料供給装置			電子制御式燃料噴射装置					
駆動装置	駆動方式		4WD	2WD	4WD	2WD	4WD	
	変速機	MT	5MT	5MT	5MT	—	—	
		AT	4AT	4AT	4AT	4AT	4AT	
車両重量(kg)		MT	1060	1000	1070	—	—	
		AT	1070	1020	1090	1030	1100	
最大積載量(kg)			—	—	—	—	—	
燃費消費率	10・15モード燃費(km/l)	MT	14.0	18.8	16.8	—	—	
		AT	12.8	17.0	16.0	16.4	15.0	
	CO ₂ 排出量(g/km)		168-184	126-139	141-148	144	158	
	2010年燃費基準達成		未達成	—	達成(4AT)	達成	未達成	
	2010年燃費基準+5%達成		—	達成	達成(5MT)	—	—	
環境情報	排出ガス	適合規制		平成17年	平成17年	平成17年	平成17年	平成17年
		低排出ガス認定レベル	良一低排出ガス					
			優一低排出ガス					
			超一低排出ガス					
		U-LEV						
	SU-LEV			●	●	●	●	
	10・15モード規制値(g/km)	CO						
		HC						
		NOx						
	10・15+11モード規制値(g/km)	CO		1.15	1.15			
NMHC		0.05	0.013					
NOx		0.05	0.013					
騒音	適合規制		平成10年	平成10年				
	加速騒音規制値(dB(A))		76	76				
エアコン冷媒使用量(g)			430	370				
リサイクル関係			バッテリートレイ	バッテリートレイ シートアンダトレイ ダッシュサイレンサ				
鉛使用量	1996年比 1/3		達成	達成				
	1996年比 1/10		未達成	達成				

＜軽乗用車＞							
車名				アルト		ジムニー	
発売開始時期				2004.9.13		2004.10.13	
車両型式				CBA-HA24S	DBA-HA24S	ABA-JB23W	
エンジン	型式			K6A		K6A	
	総排気量(L)			0.658		0.658	
	種類			直3 DOHC12V		直3 DOHC12V ICターボ	
	使用燃料			無鉛レギュラーガソリン			
燃料供給装置				電子制御式燃料噴射装置			
駆動装置	駆動方式			2WD/4WD	2WD	4WD	
	変速機	MT		5MT	—	5MT	
		AT		3AT/4AT	4AT	4AT	
車両重量(kg)			MT	700-780	—	980-990	
			AT	730-810	760	990-1000	
最大積載量(kg)				—		—	
燃費消費率	10・15モード燃費(km/l)		MT	22.0-24.5	—	16.4	
			AT	19.4-20.5	21.5	14.8	
	CO ₂ 排出量(g/km)			97-122	110	144-159	
	2010年燃費基準達成			達成	達成	未達成	
	2010年燃費基準+5%達成			一部達成	一部達成	—	
環境情報	適合規制			平成17年		平成17年	
	排出ガス	低排出ガス認定レベル		良—低排出ガス			
				優—低排出ガス			
				超—低排出ガス			
				U-LEV		●	
				SU-LEV			●
	10・15モード規制値(g/km)		CO				
			HC				
			NOx				
	10・15+11モード規制値(g/km)		CO		1.15	1.15	1.15
NMHC			0.025	0.013	0.05		
NOx			0.025	0.013	0.05		
騒音	適合規制			平成10年		平成10年	
	加速騒音規制値(dB(A))			76		76	
エアコン冷媒使用量(g)				320		430	
リサイクル関係				バッテリートレイ タンクロアカバー ダッシュサイレンサ		バッテリートレイ	
鉛使用量		1996年比 1/3		達成		達成	
		1996年比 1/10		未達成		未達成	

<軽貨物車>						
車名			アルト			
発売開始時期			2005.1.12			
車両型式			GBD-HA24V			
エンジン	型式		K6A			
	総排気量(L)		0.658			
	種類		直3 DOHC12V			
	使用燃料		無鉛レギュラーガソリン			
燃料供給装置		電子制御式燃料噴射装置				
駆動装置	駆動方式		2WD/4WD			
	変速機	MT	5MT			
		AT	3AT			
車両重量(kg)		MT	1010(1020)-1080(1090)			
		AT	1040(1050)-1090(1100)			
最大積載量(kg)			200(100)			
環境情報	燃費消費率	10・15モード燃費(km/l)	MT	21.5-24.0		
			AT	19.0-20.0		
		CO ₂ 排出量(g/km)		19.0-24.0		
		2010年燃費基準達成		—		
		2010年燃費基準+5%達成		達成		
	排出ガス	適合規制		平成17年		
		低排出ガス認定レベル	良-低排出ガス			
			優-低排出ガス			
			超-低排出ガス			
			U-LEV		●	
		SU-LEV				
		10・15モード規制値(g/km)	CO			
			HC			
	NOx					
10・15+11モード規制値(g/km)	CO		4.02			
	NMHC		0.025			
	NOx		0.025			
騒音	適合規制		平成11年			
	加速騒音規制値(dB(A))		76			
エアコン冷媒使用量(g)			320			
リサイクル関係			バッテリートレイ タンクロアカバー ダッシュサイレンサ			
鉛使用量	1996年比 1/3		達成			
	1996年比 1/10		未達成			

■ 二輪車

					
車名		チョイノリSS (セル付)	Let's4	GSX400 インパルス	
発売開始時期		2004.6	2004.10	2004.10	
仕様	車両型式	BA-CZ41A	BA-CA41A	BC-GK7CA	
	エンジン型式	Z401	A404	K718	
	種類	空冷・4サイクル 単気筒・OHV	空冷・4サイクル 単気筒・SOHC	水冷・4サイクル 直列・4気筒・DOHC	
	排気量(cm ³)	49	49	399	
	変速機	Vベルト無段	Vベルト無段	6段リターン	
	車両重量(kg)	43	64	197	
燃料消費率	60km/h定地走行燃費 (km/L)	—	—	36.5	
	30km/h定地走行燃費 (km/L)	76.0	80.0	—	
排出ガス	適合規制		平成10年	平成10年	平成11年
	二輪車モード 規制値(g/km)	CO	13.0	13.0	13.0
		HC	2.00	2.00	2.00
		NOx	0.30	0.30	0.30
騒音	適合規制		平成10年	平成10年	平成10年
	加速騒音規制値(dB(A))		71	71	73

					
車名	パーティー50	DR-Z400SM	アドレスV125		
発売開始時期	2004.10	2004.12	2005.2		
仕様	車両型式	BA-BA42A	BC-SK43A		
	エンジン型式	A405	K419		
	種類	空冷・4サイクル 単気筒・SOHC	水冷・4サイクル 単気筒・DOHC	空冷・4サイクル 単気筒・SOHC	
	排気量(cm ³)	49	398	124	
	変速機	3段ロータリー	5段リターン	Vベルト無段	
	車両重量(kg)	74	141	91	
燃料消費率	60km/h定地走行燃費(km/L)	—	40.0	56.0	
	30km/h定地走行燃費(km/L)	125.0	—	—	
排出ガス	適合規制	平成10年	平成11年	平成11年	
	二輪車モード 規制値(g/km)	CO	13.0	13.0	13.0
		HC	2.00	2.00	2.00
		NOx	0.30	0.30	0.30
騒音	適合規制	平成10年	平成13年	平成13年	
	加速騒音規制値(dB(A))	71	75	71	

					
車名	GS50	ブルバード400	ブルバード800		
発売開始時期	2005.2	2005.3	2005.3		
仕様	車両型式	BA-NA41A	BC-VK55A	BC-VS56A	
	エンジン型式	A406	K509	S510	
	種類	空冷・4サイクル 単気筒・SOHC	水冷・4サイクル V型・2気筒・SOHC	水冷・4サイクル V型・2気筒・SOHC	
	排気量(cm ³)	75	399	805	
	変速機	4段リターン	5段リターン	5段リターン	
	車両重量(kg)	75	258	261	
燃料消費率	60km/h定地走行燃費(km/L)	—	36.0	36.0	
	30km/h定地走行燃費(km/L)	95.0	—	—	
排出ガス	適合規制	平成10年	平成13年	平成11年	
	二輪車モード 規制値(g/km)	CO	13.0	13.0	13.0
		HC	2.00	2.00	2.00
		NOx	0.30	0.30	0.30
騒音	適合規制	平成10年	平成13年	平成13年	
	加速騒音規制値(dB(A))	71	75	75	

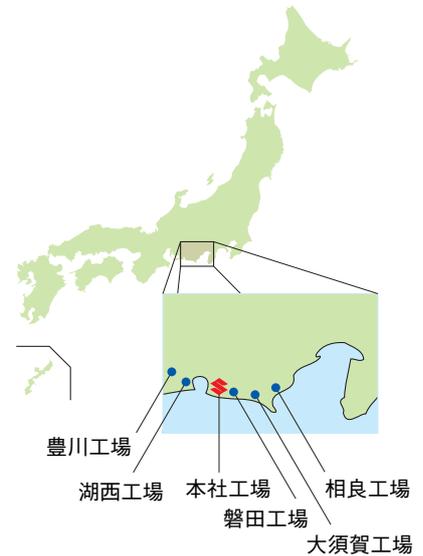
工場別環境データ

国内6工場及び生産関連8社の工場別環境データを紹介します。各工場は法令、条例、協定による環境規制を受けており、それぞれの最も厳しい数値を基準に環境負荷低減を進めています。

社内的にはその最も厳しい基準の7割を社内基準に設定し、積極的に環境負荷低減と環境事故の発生抑制に努めています。

<凡例>

- ① 水質【記号と名称(単位)】
pH:水質イオン濃度(なし)、BOD:生物学的酸素要求量(mg/L)、SS:浮遊物質量(mg/L)、
その他項目は全てmg/L
- ② 大気【記号と名称(単位)】
NOx:窒素酸化物(ppm)、SOx:硫黄酸化物(K値)、ばいじん(g/Nm³)、塩素・塩化水素・
ふっ素・ふっ化水素(mg/Nm³)、ダイオキシン類:ng-TEQ/Nm³
- ③ 規制値は、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、県条例、公害防止協定のうち、最も厳しい値
(一印は規制値なし)
- ④ 燃料に硫黄を含まないLPGを使用している設備は、SOx測定なし



スズキ国内工場

● 本社工場



工場長：横田武彦

【所在地】 静岡県浜松市高塚町300
 【敷地面積(建物面積)】 198千m²(152千m²)
 【生産品目】 二輪車エンジンの組立、機械加工等
 【従業員】 586人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	6.9~7.7	7.3
BOD	20	2.6以下	1.07
SS	30	1.6~13.6	5.1
油分	5	0.5~1.6	0.62
鉛	0.1	0	0
六価クロム	0.1	0.005未満	0.005未満
全窒素	60	5.87~52.5	25.3
全リン	8	0.06~0.33	0.15
亜鉛	1	0.02~0.08	0.04
ニッケル	2	0.02~0.36	0.10

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	140	96~105	100
	LPG焼き空調機	150	86~88	87
SOx (K値)	小型ボイラー	K値=7	0.86~1.96	1.37
	LPG焼き空調機	K値=7	0.06未満	0.06未満
ばいじん	小型ボイラー	180	10未満	10未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	垂鉛の水溶性化合物	1,100	0	0	0	0	0	0	740	0	310
40	エチルベンゼン	17,000	28	0	0	0	0	0	0	17,000	2.4
63	キシレン	80,000	850	0	0	0	0	0	2	79,000	10
227	トルエン	130,000	1,300	0	0	0	0	4.6	20	130,000	15
231	ニッケル	15,000	0	0	0	0	0	0	11,000	0	4,300
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,800	0	1,100	0	0	0	6,700	0	0	0
299	ベンゼン	7,000	11	0	0	0	0	0	0	7,000	1.0

※有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 磐田工場



工場長：岩田邦男

【所在地】 静岡県磐田市岩井2500
 【敷地面積(建物面積)】 296千m²(163千m²)
 【生産品目】 軽・小型乗商用車の完成車組立等
 【従業員】 1,390人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	7.0~7.9	7.5
BOD	15	0.6~9.9	4.7
SS	30	0.1~12.3	3.1
油分	3	0.1~1.8	0.7
鉛	0.1	0	0
全窒素	60	3.72~12.90	9.32
全リン	8	0.17~2.53	0.79
亜鉛	1	0.02~0.48	0.1
ニッケル	2	0.02~0.12	0.06

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー1	130	57~75	66
	ボイラー3	150	79~120	99.5
	小型ボイラー	—	89~120	115
	温水ボイラー	150	95~110	103
	冷温水機	150	62~100	88
SOx (K値)	ボイラー3	17.5	1.53~1.96	1.75
	小型ボイラー	17.5	0.15~0.31	0.24
ばいじん	ボイラー1	0.1	0.01未満	0.01未満
	ボイラー3	0.25	0.01未満	0.01未満
	小型ボイラー	—	0.01未満	0.01未満
	温水ボイラー	0.1	—	—
	冷温水機	0.1	—	—

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	22,000	0	150	0	0	0	6,300	140	0	15,000
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3,300	0	0	0	0	0	930	0	0	2,400
40	エチルベンゼン	67,000	30,000	0	0	0	0	0	16,000	6,000	15,000
43	エチレングリコール	940,000	0	0	0	0	0	0	0	0	940,000
63	キシレン	260,000	120,000	0	0	0	0	0	60,000	9,900	66,000
176	有機スズ化合物	2,400	0	0	0	0	0	120	0	0	2,200
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	31,000	21,000	0	0	0	0	0	9,700	290	0
227	トルエン	230,000	87,000	0	0	0	0	32	41,000	6,700	99,000
232	ニッケル化合物	2,400	0	33	0	0	0	1,600	33	0	720
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	91,000	0	0	0	0	0	2,700	0	0	88,000
299	ベンゼン	6,500	32	0	0	0	0	0	0	200	6,200
310	ホルムアルデヒド	2,200	20	0	0	0	0	0	0	2,200	0
311	マンガン及びその化合物	4,200	0	250	0	0	0	1,400	35	0	2,500
312	無水フタル酸	1,400	0	0	0	0	0	41	0	0	1,300

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 湖西工場



工場長：取締役 相澤直樹

【所在地】 静岡県湖西市白須賀4520
 【敷地面積(建物面積)】 1,146千m²(455千m²)
 【生産品目】 軽・小型乗用車の完成車組立等
 【従業員】 2,110人

<水質関係(排水口)>

[第一排水口(第一工場、第二工場)]

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	7.3~8.2	7.8
BOD	15	1.4~6.5	3.8
SS	15	0~11.6	2.5
油分	2	0.1~1.2	0.6
鉛	0.1	0~0.01未満	0.007
クロム	0.4	0.05未満~0.2未満	0.18
全窒素	12	0.23~5.17	2.68
全リン	2	0.06~0.734	0.29
亜鉛	1	0.06~0.34	0.12

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	150※	82~100	90
	焼却炉	200	100~120	110
	ガスタービン1	70	29~33	30
	ガスタービン2	70	21~37	30
	電着乾燥炉	230	60~78	69
	冷温水機1	150	28~72	54
	冷温水機2	150	54~59	57
	冷温水機3	150	83~100	92
	水管ボイラー	150	92~100	96
	SOx (K値)	小型ボイラー	7	0.09~0.39
焼却炉		7	0.27~0.44	0.37
ガスタービン1		7	0.17~0.18	0.18
ガスタービン2		7	0.09~0.17	0.13
電着乾燥炉		7	0.15未満	0.15未満
ばいじん	小型ボイラー	0.1	0.01未満	0.01未満
	焼却炉	0.15	0.01未満	0.01未満
	ガスタービン1	0.05	0.01未満	0.01未満
	ガスタービン2	0.05	0.01未満	0.01未満
	電着乾燥炉	0.2	0.01未満	0.01未満
	冷温水機1	0.1	0.01未満	0.01未満
	冷温水機2	0.1	0.01未満	0.01未満
	冷温水機3	0.1	0.01未満	0.01未満
水管ボイラー	0.1	0.01未満	0.01未満	
塩化水素	焼却炉	150	5未満~31	16
ダイオキシン	焼却炉	5	0.013	0.013
CO	焼却炉	100	6	6

※ 協定値

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年(ダイオキシンはmg-TEQ/年)

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	25,000	0	760	0	0	0	0	6,800	0	18,000
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	21,000	0	0	0	0	0	0	5,000	0	16,000
40	エチルベンゼン	360,000	210,000	0	0	0	0	0	100,000	14,000	28,000
43	エチレングリコール	590,000	0	0	0	0	0	0	0	0	590,000
63	キシレン	630,000	330,000	0	0	0	0	0	160,000	24,000	120,000
176	有機スズ化合物	12,000	0	0	0	0	0	0	580	0	11,000
179	ダイオキシン類	0	0.95	0.0090	0	0	0	200	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	100,000	66,000	0	0	0	0	0	32,000	3,100	0
227	トルエン	620,000	270,000	0	0	0	0	0	140,000	31,000	180,000
232	ニッケル化合物	4,000	0	180	0	0	0	0	2,600	0	1,200
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	8,300	0	0	0	0	0	0	250	0	8,000
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	9,100	0	1,200	0	0	0	0	7,400	0	560
299	ベンゼン	11,000	280	0	0	0	0	0	0	260	11,000
307	ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテル	2,900	0	220	0	0	0	0	0	2,700	0
310	ホルムアルデヒド	7,100	500	0	0	0	0	0	0	6,600	0
311	マンガン及びその化合物	4,900	0	290	0	0	0	0	1,700	0	2,900
312	無水フタル酸	2,000	0	0	0	0	0	0	60	0	1,900

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 豊川工場



工場長：久米智之

【所在地】 愛知県豊川市白鳥町兎足1-2
 【敷地面積(建物面積)】 185千m²(78千m²)
 【生産品目】 二輪車、船外機の完成車組立等
 【従業員】 640人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	6.7~7.2	7.0
BOD	25	0.4~6.5	4.0
SS	30	0.6~5.0	3.1
油分	5	0.5~2.5	0.7
六価クロム	0.5	0.05	0.05
全窒素(総量)	19.45	0.15~11.0	3.36
全リン(総量)	2.57	0.05~2.03	0.83

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー1	—	74	74
	吸収式冷温水器	150	68~71	70
	ボイラー2	—	83	83
	乾燥炉1	—	5	5
	乾燥炉2	—	5	5
ばいじん	ボイラー1	—	0.01	0.01
	吸収式冷温水器	0.1	0.01	0.01
	ボイラー2	0.3	0.01	0.01
	乾燥炉1	0.4	0.01未満	0.01未満
	乾燥炉2	0.4	0.01未満	0.01未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品	
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物				
1	亜鉛の水溶性化合物	1,000	0	6.2	0	0	0	0	300	0	0	700
40	エチルベンゼン	17,000	8,600	0	0	0	0	0	0	4,400	1,500	2,400
43	エチレングリコール	310,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	310,000
63	キシレン	31,000	11,000	0	0	0	0	0	0.2	5,500	3,800	11,000
69	六価クロム化合物	950	0	1.0	0	0	0	0	6.7	0	0	950
227	トルエン	61,000	27,000	0	0	0	0	0	0.4	13,000	5,000	16,000
299	ベンゼン	1,100	16	0	0	0	0	0	0	0	240	860
346	モリブデン及びその化合物	1,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,400

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 大須賀工場



工場長：山本正成

【所在地】 静岡県掛川市西大淵6333
 【敷地面積(建物面積)】 149千m²(48千m²)
 【生産品目】 鋳造部品の製造等
 【従業員】 370人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	6.8~7.4	7.1
BOD	10	1.1~8.1	4.5
SS	10	0.5~8.4	3.8
油分	2	0.0~1.5	0.6
カドミウム	0.07	0	0
鉛	0.7	0.0~0.01	0
六価クロム	0.35	0.005未満	0.005未満
全窒素	60	2.21~18.0	4.51
全リン	8	0.12~4.32	0.42
亜鉛	0.8	0.0~0.13	0.05

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ガスタービン	70	6~24	9.4
ばいじん	鋳鉄溶解炉	0.1	0.01未満	0.01未満
	ガスタービン	0.05	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解炉	0.2	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解保持炉	0.2	0.01未満	0.01未満
塩素	アルミ溶解炉	10	1未満	1未満
	アルミ溶解保持炉	10	1未満	1未満
塩化水素	アルミ溶解炉	20	5未満	5未満
	アルミ溶解保持炉	20	5未満	5未満
フッ素・フッ化水素	アルミ溶解炉	1	0.3未満	0.3未満
	アルミ溶解保持炉	1	0.3未満	0.3未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
63	キシレン	2,000	76	0	0	0	0	33	0	1,900	0
227	トルエン	3,000	100	0	0	0	0	46	0	2,800	0
311	マンガン及びその化合物	120,000	0	0	0	0	0	2,400	0	0	120,000
346	モリブデン及びその化合物	2,200	0	0	0	0	0	43	0	0	2,100

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 相良工場



工場長：百瀬 陽夫

【所在地】 静岡県牧之原市白井1111
 【敷地面積(建物面積)】 1,955千㎡(71千㎡)
 【生産品目】 四輪車エンジンの組立、エンジン主要
 部品の鋳造及び機械加工等
 【従業員】 720人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.6~8.6	7.5~8.0	7.6
BOD	15	1.0~4.0	1.0
SS	30	0.2~3.1	1.5
油分	3	1.0	1.0
鉛	0.1	0.01	0.01
クロム	2	0.02	0.02
全窒素	60	4.6~15.7	12.2
全リン	8	0.11~0.35	0.18
亜鉛	3	0.08~0.18	0.13

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ガスタービン	70	13~16	14.7
	乾式集塵機	180	5	5
	熱処理炉	180	33~41	37
ばいじん	ガスタービン	0.05	0.01	0.01
	熱処理炉	0.2	0.01	0.01
	乾式集塵機	0.2	0.01	0.01
塩素	乾式集塵機	10	1	1
塩化水素	乾式集塵機	20	5	5
フッ素・フッ化水素	乾式集塵機	1	0.3	0.3
ダイオキシン	乾式集塵機	1	0.0000023	0.0000023
	切粉前処理施設	1	0.0000003	0.0000003

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	4,600	4.9	0	0	0	0	0	0	4,600	0
63	キシレン	25,000	43	0	0	0	0	0	0	25,000	0
227	トルエン	45,000	150	0	0	0	0	0	0	45,000	0
299	ベンゼン	2,700	3.2	0	0	0	0	0	0	2,700	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

国内製造子会社

● (株)スズキ部品浜松



社長：信田洋

【所在地】 静岡県磐田市南平松7-3
 【敷地面積(建物面積)】 68千m²(24千m²)
 【生産品目】 自動車部品切削加工、ダイカスト鋳造と切削加工
 【従業員】 253人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.7~7.3	7.05
BOD	20	0.5~14.0	4.8
SS	40	2.0~12.0	2.8
油分	5	0.5~1.5	0.8
全窒素	60	3.7~11.0	7.9
亜鉛	3	0.05~0.2	0.07

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	アルミ溶解炉	—	1未満	1未満
	溶解保持炉	—	7.0	7.0
ばいじん	アルミ溶解炉	—	0.02未満	0.02未満
	溶解保持炉	—	0.02未満	0.02未満
塩素	アルミ溶解炉	30	0.9未満	0.9未満
塩化水素	アルミ溶解炉	80	2.8未満	2.8未満
フッ素・フッ化水素	アルミ溶解炉	3	0.8未満	0.8未満
ダイオキシン類	切粉溶解炉	5	0.0044	0.0044

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
43	エチレングリコール	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0
253	ヒドラジン	15	0	0	0	0	0	15	0	0	0
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	420	0	0	0	0	0	420	0	0	0
304	ほう素及びその化合物	200	0	0	0	0	0	200	0	0	0
307	ホ ^o リ(キシエチレン)=アルキルエーテル	680	680	0	0	0	0	0	0	0	0
309	ホ ^o リ(キシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	32	0	0	0	0	0	32	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● スズキ精密工業(株)



社長：杉浦雄輔

【所在地】 静岡県浜松市引佐町井伊谷500
 【敷地面積(建物面積)】 82千m²(39千m²)
 【生産品目】 自動車部品の鍛造、熱処理及び歯切加工
 【従業員】 496人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.0~7.8	7.4
BOD	15	1.0~11.0	3.2
SS	20	2.0~2.6	2.04
油分	5	0.5~2.0	0.8
全窒素	120	3.3~27.0	14.9
亜鉛	1	0.1~0.63	0.24

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	連続浸炭炉	180	47~50	49.5
	焼鈍炉	180	40~50	48.5
	冷水発生器	150	42~57	47.8
SOx(K値)	連続浸炭炉	17.5	0.08~0.09	0.086
	焼鈍炉	17.5	0.08	0.08
	冷水発生器	17.5	0.07~0.16	0.115
ばいじん	連続浸炭炉	0.2	0.01	0.01
	焼鈍炉	0.2	0.01	0.01
	冷水発生器	0.1	0.01	0.01

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	1,400	0	0	0	0	0	0	1,200	0	200
40	エチルベンゼン	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0
63	キシレン	66	66	0	0	0	0	0	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	79	79	0	0	0	0	0	0	0	0
227	トルエン	58	56	0	0	0	0	0	0	0	2
232	ニッケル化合物	31	0	0	0	0	0	0	28	0	4
270	フタル酸ジ-n-ブチル	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5
304	ほう素及びその化合物	80	0	0	0	0	0	80	0	0	0
309	ポリ(リンイレン)＝ノルフェルエーテル	23	0	0	0	0	0	19	0	0	4
311	マンガン及びその化合物	920	0	0	0	0	0	0	810	0	110

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● (株)浜松パイプ



社長：鳥居重利

【所在地】 静岡県磐田市南平松6-2
 【敷地面積(建物面積)】 36千m²(12千m²)
 【生産品目】 自動車用パイプ部品の製造
 【従業員】 170人

<水質関係(排水口)>

排水は(株)スズキ部品浜松に送水して処理しています。

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
68	クロム及び3価クロム化合物	21,000	210						530		20,000
231	ニッケル	9,700	97						240		9,400
311	マンガン及びその化合物	3,200	32						80		3,100

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● (株)スズキ部品秋田



社長：村田邦彦

【所在地】 秋田県南秋田郡井川町浜井川
字家の東192-1
【敷地面積(建物面積)】 199千m²(25千m²)
【生産品目】 自動車部品の鍛造及び切削加工
【従業員】 420人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	6.0~8.5	7.0~7.4	7.2
BOD	20	1.1~13.0	6.4
SS	30	10~18	14
油分	4	0.5~1.2	0.8
全窒素	60	4.5~5.5	5
全リン	8	0.14~0.2	0.17

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	180	37~63	47.5
SOx(K値)		8.76	0.01未満	0.01未満
ばいじん		0.3	0.01未満	0.01未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	2,200	0	0	0	0	0	1,300	0	0	880
40	エチルベンゼン	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0
63	キシレン	6,700	360	0	0	0	0	0	0	6,400	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	4,200	25	0	0	0	0	0	0	4,200	0
227	トルエン	170	170	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0
309	ホ [®] リ(キシレン) = ノルフェニール	82	0	0	0	0	0	82	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● 遠州精工(株)



社長：柴田斉治

【所在地】 静岡県浜松市山東1246-1
【敷地面積(建物面積)】 22千m²(11千m²)
【生産品目】 自動車部品の切削加工
【従業員】 199人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	6.5~8.2	7.4~7.8	7.6
BOD	10	1.0~4.2	2.2
COD	35	1.5~4.7	2.7
SS	15	2.0~4.1	2.2
油分	3	0.5~0.6	0.5
六価クロム	0.5	0.05	0.05

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
63	キシレン	4,900	4,100					780			
227	トルエン	2,800	1,500					1,300			

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● スニック(株)



社長：尾本宗之

【所在地】 静岡県磐田市東平松1403
 【敷地面積(建物面積)】 24千m²(19千m²)
 【生産品目】 自動車内装部品の製造
 【従業員】 222人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.0~7.9	7.36
BOD	20	1~13	4.39
SS	40	2~16	7.75
油分	5	0.2~1.5	0.77

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	3,200	3,200	0	0	0	0	0	0	0	
338	メチル-1,3-フェニレンジイソシアネート	3,200	0	0	0	0	0	3,200	0	0	

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● (株)スズキ部品富山



社長：青島豊彦

【所在地】 富山県小矢部市水島3200
 【敷地面積(建物面積)】 99千m²(42千m²)
 【生産品目】 自動車部品の加工及び電子機器組立
 【従業員】 339人

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	6~8	6.59~7.53	6.9
BOD	15	0.11~10.0	4.36
SS	15	0.70~7.60	2.86
油分	5	0.5~1.0	0.66
カドミウム	0.02	0.005未満	0.005未満
鉛	0.08	0.005~0.014	0.005未満
六価クロム	0.1	0.02未満	0.02未満
全窒素	120	1.0~9.9	4.04
全リン	16	0.13~1.60	0.96
亜鉛	5	0.08~0.22	0.13

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー1	150	74~85	79.5
	小型ボイラー2	150	74~87	80.5
	小型ボイラー3	150	79~92	85.5
	アルミ溶解炉	180	35~53	70.5
SOx(K値)	小型ボイラー1	17.5	0.1~1.35	0.73
	小型ボイラー2	17.5	0.09~1.51	0.8
	小型ボイラー3	17.5	0.15~1.23	0.69
	アルミ溶解炉	17.5	0.04~0.24	0.14
ばいじん	小型ボイラー1	0.3	0.009	0.009
	小型ボイラー2	0.3	0.009	0.009
	小型ボイラー3	0.3	0.009	0.009
	アルミ溶解炉	0.3	0.009~0.01	0.0095

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	3,600	3,600	0	0	0	0	0	0	0	
63	キシレン	12,000	12,000	0	0	0	0	0	0	0	
227	トルエン	14,000	14,000	0	0	0	0	0	0	0	
232	ニッケル化合物	2,900	0	0	0	0	0	2,900	0	0	

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

● (株)スズキ化成



社長：谷口 彰

【所在地】 静岡県浜松市平口5158-1
 【敷地面積(建物面積)】 21千m²(6千m²)
 【生産品目】 自動車内装部品の製造
 【従業員】 107人

<水質関係(排水口)>
 対象設備がありません。

<大気関係(排気口)>
 対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位：kg/年

物質 番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	焼却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
63	キシレン	3,400	3,400	0	0	0	0	0	0	0	0
227	トルエン	6,900	6,900	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

環境取り組みの歴史

スズキの環境への取り組みと主な出来事を年表にしました。

環境対策の歩み

1970年	3月	大阪万国博覧会会場で、キャリイバン電気自動車10台が使用される
1971年	7月	生産工程の環境対策部門として生産技術部設備課に環境保安係を設置
1977年	4月	スズキグループ安全衛生公害問題研究協議会を発足
1978年	12月	キャリイバン電気自動車を開発
1981年	12月	(財)機械工業振興助成財団(現:スズキ財団)主催の省エネルギーシンポジウムを開催
1989年	8月	製品も含め環境問題への全社的取り組みを強化するため、環境問題審議会を設置
1990年	3月	全国の代理店に回収機を配備し、カーエアコン冷媒の特定フロンの回収、再利用を開始
1991年	12月	発泡用特定フロン(シート等のウレタンフォーム材に使用)の使用を全廃
1992年	1月	樹脂製部品への材料名の表示を開始
		無段変速装置 SCVTを開発(カルタスコンバーチブルに搭載)
	10月	天然ガススクーターを開発
	11月	廃棄物の減量化と再利用を推進するため、生産技術開発部に廃棄物対策グループを設置
	12月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を発売
1993年	3月	「環境保全取り組みプラン」を策定
	5月	環境保安係と廃棄物対策グループを統合し、環境産廃グループとして再編、強化
	12月	カーエアコン冷媒の代替フロン化を完了
1994年	6月	販売店で発生する使用済みバンパーの回収、リサイクルを開始
	8月	塗装排水汚泥の再利用設備を設置し、アスファルトシートへの再利用を開始
		鋳造工場の鋳物廃砂のセメント原料への再利用を開始
1995年	1月	廃棄物焼却炉を更新し、廃棄物の減量化と廃熱利用(蒸気)を拡大
	8月	省エネルギーを推進するため湖西工場にコージェネレーション設備を導入
1996年	4月	電動アシスト自転車「LOVE」を発売
	5月	「環境保全取り組みプラン(フォローアップ版)」を策定
	12月	相良工場にコージェネレーション設備を導入
1997年	3月	ワゴンR天然ガス自動車を開発
	5月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を大幅に改良して発売
	10月	4ストローク船外機がシカゴポートショーで技術革新賞を受賞
	12月	「車の解体マニュアル」を発行し、代理店に配付
1998年	2月	大須賀工場にコージェネレーション設備を導入
		「使用済み自動車リサイクル・イニシアティブ自主行動計画」を策定
	4月	ハンガリーの生産工場のマジャールズズキ社でISO14001の認証を取得
	7月	湖西工場でISO14001の認証を取得
	10月	新型軽自動車で、リーンバンエンジン搭載車、LEVを発売 スズキ4ストローク船外機が2年連続で技術革新賞を受賞
12月	環境に配慮したパイプ曲げ加工技術を開発	

1999年	3月	二輪車用の新触媒を開発(スクーター「Let'sII」に搭載)
	5月	低燃費車 アルト「Scリーンバーン」 CVTを新発売
	6月	「ワゴンR 天然ガス(CNG)自動車」を新発売
	8月	エブリイ電気自動車の新モデルを発売
	9月	大須賀工場、相良工場でISO14001の認証を取得
	10月	アルトのアイドリング・ストップシステム採用車を発売
		「スズキ Pu-3 コミュータ」が東京モーターショー「ザ ベスト コンセプト カー」特別賞を受賞 電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」シリーズをフルモデルチェンジし発売
	11月	インドのマルチ・ウドヨグ社でISO14001の認証を取得
		有機溶剤を使用せずに超音波で洗浄する、環境に配慮した超音波卓上洗浄機「SUC-300H・600H」を新発売
12月	「エブリイ 天然ガス(CNG)自動車」を新発売	
	静かで振動の少ない4ストローク船外機「DF25」「DF30」を発売	
2000年	1月	小型のバンパー破砕機を自社開発
	2月	スペインのスズキスペイン社でISO14001の認証を取得
	6月	カナダのカミ・オートモティブ社でISO14001の認証を取得
	7月	電動三・四輪車「スズキ セニアカー」の輸送用パッケージが、日本パッケージングコンテストで「ロジスティクス賞」を受賞
	10月	電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」をフルモデルチェンジし発売
	11月	三・四輪車「スズキ セニアカー」の輸送用パッケージが、世界パッケージングコンテストで「ワールドスター賞」を受賞
		静かで振動が少ない大型4ストローク船外機「DF90」「DF115」を発売 豊川工場でISO14001の認証を取得
2001年	1月	国内の二・四輪工場の塗装工程での鉛使用を全廃
	3月	バンパー破砕機の設置を全国に拡大
	4月	技術、製品、製造、流通等の環境問題を担当する環境企画グループを新設
		環境問題への取り組みを強化するため、これまでの環境問題審議会に替わり環境委員会を設置
	8月	埋立廃棄物を大幅に削減し、ゼロレベル化目標を達成
	10月	GMと燃料電池技術分野で相互協力
2002年	1月	コンセプトカー「Covie」がデトロイトモーターショーにおいて、米オートモティブ・ニュース誌の「コンセプトカー最優秀環境賞」受賞
	3月	アイドリング ストップ運動開始
	7月	軽四輪車用エンジンで初となる直噴ターボエンジンを実用化
2003年	1月	軽乗用車で初となるハイブリッド自動車(ツイン)を新発表
		省資源に優れた新発想のスクーター(チョイノリ)を新発表
	3月	磐田工場でISO14001の認証を取得
		本社工場でISO14001の認証を取得
		風力発電設備を引佐研修センターに設置
	7月	IMDS(International Material Data System)に加入
9月	グリーン調達ガイドラインを発行	
	「超-低排出ガス」認定のエブリイを発売	
2004年	1月	自再協、ARTを他社メーカーと共同で設立
	2月	風力発電装置を湖西工場に設置(2基)
	7月	二輪車リサイクル料金を発表
		使用済み自動車(四輪車)リサイクル料金を発表
	8月	日本国内で初めて700気圧圧縮水素貯蔵システムの認可を取得
カーシェアリング(車両共同利用)システムに対応した「MRワゴン カーシェアリング専用車」を発売		
2005年	4月	二輪車の保証期間を従来の1年から2年に変更
	7月	アルミ表面のアルマイト皮膜を平滑化し、耐食性、耐久性を向上させる「ハイパー・アルマイト」を開発